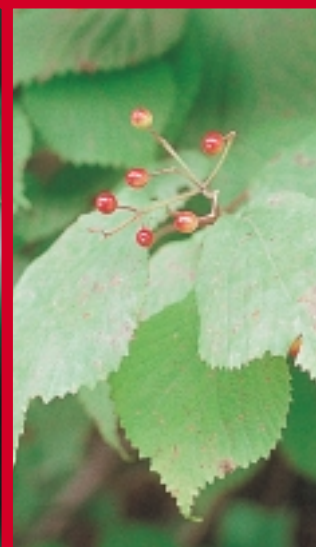
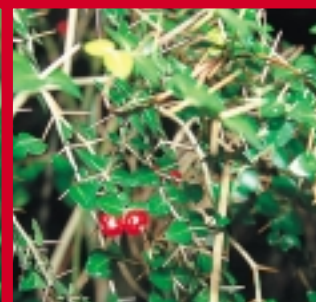
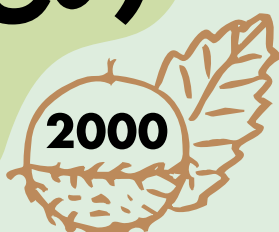




身近な林 (秋冬調査編)



身近な
生きもの
調査



調査のてびき

環境庁

身近な 生きもの 調査

2000

調査のてびき

身近な林 (秋冬調査編)

目次	はじめに	2
	調査の概要	3
	調査の進め方	4
	生きもの調査カレンダー	5
	こんな林を選んでください	6
	林のようす調べ	7
	林のようす調べの進め方	7
	林の写真の撮り方	8
	林のアルバムをつくってみよう	8
	ドングリ調べ	9
	検索図	9
	ドングリ図鑑	10
	ドングリ調べの進め方	12
	赤い実調べ	13
	検索図	13
	赤い実図鑑	14
	赤い実調べの進め方	15
	気をつけていただきたいこと	16

はじめに

このてびきを手にされたあなたは、以前から自然に興味をお持ちでしょうか？ それともこの調査のことを何かでお聞きになって、はじめて自然に目を向けようと思われたのでしょうか？ みなさん、それぞれの思いがあることと思います。

このてびきは、「身近な林」調査のやり方や、秋冬調査で必要な「ドングリ」と「赤い実」の見わけ方について説明したものです。調査を始める前に、ひととおり目をとおしてください。わかりにくい点は、どうぞ遠慮なく、せいぶつ たようせい生物多様性センターへお問い合わせください。

今回の調査が、みなさんの身の回りの自然をもう一度見つめ直すきっかけになればと、思っています。実際に調査を始めてみると、わからなくなったり、とまどったりすることもあるかと思いますが、調査期間は十分にありますので、じっくりと、みなさんのペースでやってみてください。



身近な林を見直してみよう

森や林は多くの木や草が集まってできており、そこではさまざまな生物が生活を営んでいます。森や林を守るうえで、人間の手が加わっていないげんせいりん原生林が大事であることは、以前から気づかれていました。そこにはツキノワグマのような大きなけものや、日本列島にしか見られない多くの植物が生きていたからです。しかし、そういった原生林だけが日本の森や林を健康に保つために大事なのでしょうか？ 近年では、私たちの身近な自然である里山そうきばやしの雑木林や街のなかに残された緑地も、生物が生き延びていく上で重要な役割を持っていることがわかってきました。雑木林には、原生林に負けないくらい多くの昆虫が生活しており、都市の緑地は渡り鳥の移動のためにも役立っているのです。

「身近な生きもの調査」は、こうした私たちの身近な自然環境を生物が生きる環境としてよりよいものにするための基礎資料作りとして行われます。